

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2016年8月

VOL. 118

リオ五輪開幕  
がんばれ  
ニッポン！！

## かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



豊中市議会議員  
無所属

## 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

### ◆ 防犯カメラのあるべき姿を考えよう！！～2年間で1230台を設置予定～ ◆

豊中市では犯罪等の未然防止、早期解決を目的として、今年度と来年度の2か年で各小学校区の通学路を中心に防犯カメラを設置する予定です。7月から順次、小学校区ごとに地域説明会やワークショップ(具体的な設置場所の選定)が実施されています。

地域の諸団体(防犯協議会、青少年健全育成会、PTAなど)からの意見を中心に、警察署からのアドバイスも参考に、市が設置場所を決めていきますが、市民の皆さんも身近な地域のことを考え、市や地域の諸団体、学校等にご意見やご提案を出して頂きたいと思っております。

#### 【暮らし安心・安全見守りカメラ(防犯カメラ)の概要】



- ①**設置予定台数**：1校区平均30台(市内全域(41小学校区)で約1230台)  
※各校区の人口や広さ、過去の事件など地域状況を勘案し、校区内の設置台数は決定
- ②**用途**：街頭犯罪や侵入盗等の未然防止、早期解決のために利用  
※撮影された画像は、捜査機関からの照会など法令等に基づく場合に提供
- ③**設置場所**：通学路を中心に、地域からの要望や警察からの提案を参考に決定  
※プライバシーに配慮し、誰もが見やすい位置に設置され、撮影していることを明示
- ④**維持・管理コスト**：平成28年度、29年度2か年で総額約1億7000万円  
※機材はリース契約で、1校区当り約263万円/年、電気代は約18万円/年
- ⑤**運用・管理方法**：カメラ本体も画像データも市が適正に維持管理する  
撮影は個人のプライバシーを配慮し、撮影範囲は必要最小限とする  
※撮影された画像は7日間程度保存され、自動的に上書き消去される設定とする予定
- ⑥**事業スケジュール**：
  - 1) 平成28年度:20校区に設置を推進  
7月～12月 地域説明会、設置意向の確認、設置場所の選定  
1月～ カメラ設置、運用開始
  - 2) 平成29年度:21校区に設置を推進  
4月～ 地域説明会、設置意向の確認、設置場所の選定、カメラ設置、運用開始

#### 🌻 神原の提言 🌻

##### ① 防犯カメラに対する過度の依存や信頼は避けるべき！！

防犯カメラを設置さえすれば、地域の安全、安心が確立されるわけではなく、従来から地域で取り組んでいる防犯活動や地域コミュニティの強化が最重要と考えます。

##### ② 際限のない監視社会への流れには注意を！！

防犯カメラは、犯罪者だけでなく、市民一人一人も撮影しており、個人のプライバシーが損なわれる可能性も十分考慮する必要があり、効果的かつ合理的な設置が求められます。



# ◆ 保育所を取り巻く現状と将来に向けて～人口減少社会を見据えた計画策定を!!～ ◆

【保育所を取り巻く現状は??～児童数、保育所申込者数ともに増加傾向～】

2016年4月現在、待機児童数:**217人**(昨年比36人減)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年(A)	平成28年(B)	(B)-(A)
待機児童数	41人	75人	132人	253人	<b>217人</b>	<b>▲36人</b>
認可定員	4605人	4728人	4931人	5490人	5866人	376人
申込者数	5507人	5613人	6177人	6366人	6956人	590人
0歳～5歳の人口	21278人	21740人	22168人	22191人	22307人	116人

(注)平成27年度から待機児童の定義が変更になり、求職活動中の方や

64時間以上96時間未満の短時間就労者、内定中の方の児童も含まれることになりました

ここ数年、0歳から5歳の児童数は増加傾向にあり、保育所申込者数も急増しています。

市では、平成30年度当初の待機児童ゼロを目指し、昨年度からの3年で**1400人分**の保育所定員数の増加を図る計画で進めています。

【将来の児童数の見込みは??～ここ20年で約4000人も減少か・・・～】

一方、豊中市の0歳から5歳の人口は、ここ数年をピークに減少することが予想されており、10年後には20651人、20年後には18316人と、今より約**4000人**の減少が見込まれています。

【将来的な公立保育所の適正数は??】

～老朽化や運営面での課題への対応が急務!!～

豊中市は、幼保連携型認定こども園を推進する立場から、平成27年度に公立幼稚園7園と保育所19か所を全て認定こども園に移行しました。公立こども園26園のうち、19園が築40年を超えるなど老朽化が進行しています。また、公立と民間では人件費に大きな差があるため、公立保育所は民間保育所に比べて事業コストが高額で運営面での課題があります。加えて、公立保育所の多くが昭和40年代に開所されたことに伴い、当時、大量の保育士が採用された経過があり、これからの5年間、職員の大量退職が予想されています。

## 🌻 神原の提言 🌻

### ① 近隣市との連携で保育所受け入れ枠の確保を!!



豊中市だけで考えるのではなく、吹田市や箕面市など隣接する自治体と千里中央駅、桃山台駅、緑地公園駅周辺に保育所を共同で整備し、預け先の拡大を図ってはどうでしょうか。

### ② 保育士確保対策の強化を!!

市内の保育所に勤務する保育士に対する家賃補助制度や市内の保育所に勤務することを条件に保育士を目指す学生に学費の補助制度の創設を検討してはどうでしょうか。

### ③ 人口減少社会を見越した保育所整備計画の策定を!!

就学前児童数の将来推計や施設の老朽化、施設の維持管理経費や人件費など運営面での課題を考慮して、早急に公立こども園の適正配置計画を策定すべきです。

### ④ 公立こども園の民営化の推進を!!

職員の大量退職に合わせて、公立こども園の民営化を推進し、事業コストの削減を図るべきです。削減できた事業コストを保育料の軽減や保育士の処遇改善に回せばよいのではないのでしょうか。

## 発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive\_square/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日 HP で更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



## 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

